

佐久広域連合

広域連合長 柳田 清二 様

広域観光に関する要望書

佐久広域連合議会

議長 丸山 正昭

広域観光に関する要望書

近年、観光客の行動や今後のツーリズムは転換期を迎えています。インバウンドのさらなる推進も含め観光業は地域経済活性化において重要な役割を果たしており、潜在的な資源を活かした施策が地域全体の発展に大きな影響を与えることは広く認識されています。

今後、さらなる掘り起こしを進めるため、下記の点について連携強化や改善を図っていただきたく、佐久地域における観光振興を目的として、要望書を佐久広域連合議会の総意として提出します。

つきましては、来年度以降の施策並びに予算に反映をいただくようお願い申し上げます。

記

1 公共交通の改善と観光交通手段の拡充

(1) 二次交通との連携強化

小海線及びしなの鉄道と観光地の間を結ぶ二次交通を連携させ、より充実した観光地を巡れる仕組みについて強化されたい。

(2) E-バイクツアーの実施

E-バイクを使った観光ツアーを企画し、観光客が自由に地域を巡れる仕組みづくり及びバイクの電車内持ち込みや充電施設、乗り捨て拠点の整備について連携強化されたい。

2 地域文化と歴史を活用した観光資源の強化

(1) インバウンド観光の推進

訪日客向けに佐久地域の自然、歴史的建造物、伝統文化、地元の酒や果物など地域独自の観光資源を活かしたプログラムを推進すること。

(2) 歴史的な街道等を活かした観光プログラムの推進

街道や峠道を活かしたスポーツ及びアクティビティを企画し、源流や分水嶺、また各所の滝巡りなど地域を深く知ることができる観光プログラムを推進すること。

3 デジタル技術を活用した観光事業の向上

(1) DX を活用した観光事業の推進

来訪者の属性や購買データ、電子マネーのビッグデータなどの活用を推進すること。また仕事と休暇を融合した新たな働き方であるリゾートテレワークなどについて普及されたい。

(2) 広域観光アプリの導入

観光スポットや施設を紹介する専用アプリを導入し、観光体験の質を向上させること。

令和7年1月27日

佐久広域連合

広域連合長 柳田 清二 様

佐久広域連合議会

議長 丸山 正昭

